

## 五輪を前に社員らが上川選手を激励 170人が参加し本社で壮行会

京葉ガスでは6月17日、ロンドンオリンピックに出場する京葉ガス柔道部・上川大樹選手の壮行会を開催しました。



河原正将(右)、寺島選手から寄せ書きの国旗を受け取った上川選手(右から二人目)＝6月17日、京葉ガス本社で

上川選手は昭和45年に京葉ガス柔道部が創部して以来、初めてのオリンピック代表選手となりました。

出場する男子100kg超級は8月3日に試合が行われる予定で、本番での活躍を願う社員らが上川選手を励まそうと6月17日、京葉ガス本社（市川市市川南）に集まりました。来賓として大久保博・市川市長、関勝治・千葉県柔道連盟副会長と、出身校の明治大学柔道部から猿渡琢海監督と園田隆二助監督を招き、会社関係からは瀧山英清・京葉ガス社長をはじめとする会社幹部、グループ会社社長、柔道部員のほか、上川選手と同じ4月入社の新入社員24人全員など、合わせて約170人が参加しました。

会は午後1時から1時間半にわたり行われ冒頭、社長の瀧山は「柔道においては、オリンピックは参加するだけでは意味がなく、勝ちに行くのが日本の柔道だ」とした上で「本番で100%の力を発揮してほしい」と上川選手を激励しました。「最後まであきらめるな」「必勝」「センターポールに日の丸を！」「粉骨砕身」気持ちで勝て！！」などと参加者らが寄せ書きした国旗が柔道部の河原正太主将と寺島克興選手から、花束が同期の新入社員から手渡され、最後に上川選手が「一戦一戦大切に戦い、優勝を目指して頑張ります」と挨拶しオリンピックでの活躍を誓いました。





花束を持つ上川選手を囲んでの集合写真